

# 17-403 「ITを活用した地方創生の取り組み方」 ～これからのまちづくりとITの活かし方～

## 【研修のねらい】

地方における人口減少や経済活動の縮小などが進み、中小零細企業を取り巻く経営環境はグローバル化などの大きな波が押し寄せるなど激しい変化に直面しており、これらの問題に対応する「地方創生」は国全体の重要な取り組みテーマとなっています。

本研修は、支援機関が地方創生にどのように貢献するのかについての基礎知識や考え方を学んだうえで、ITを活用した地域おこしの具体策について、事例研究を交えながら実践的に学んでいただきます。

## 【時 限 表】

月日	時間	科目	内 容	講師（敬称略）
11月15日 （水曜）	9:10～9:30	開講式・オリエンテーション		
	9:30～12:30	地方創生への取り組み方	地方創生の考え方や進め方について理解した上で、支援機関としてどのように地方創生に貢献すべきなのかについて事例を交えて学んでいただきます。	ナレッジネットワーク(株) 代表取締役 森戸 裕一
	13:30～17:30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生の進め方</li> <li>・地方創生の失敗事例から学ぶ教訓</li> <li>・支援機関に求められる役割</li> <li>・地元の活性化に向けた課題と対策の検討</li> <li>・ITを活用した地方創生の取り組み事例Ⅰ</li> </ul>	
11月16日 （木曜）	9:00～12:30	小規模事業者に対する IT活用支援の進め方	ITが広く普及した今の時代において、小規模事業者がどのようにITを活用すれば業績の向上や地域活性化などの効果を生み出せるのかについて、具体的な取り組み方を事例を交えて学んでいただきます。	〔前掲〕 森戸 裕一
	13:30～17:30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ITとICTの違い</li> <li>・目的に合ったITの使い方</li> <li>・これだけは使いたいITの企業支援ツール</li> <li>・最新のIT技術の紹介</li> <li>・越境ECのメリットと今後の展望</li> <li>・IT活用を支援する側の留意点・事例Ⅱ</li> </ul>	〔前掲〕 森戸 裕一  株式会社油津応援団 専務取締役事業間連携専門官 木藤 亮太
11月17日 （金曜）	9:00～12:30	IT活用と地方創生 における事例研究	ITを効果的に活用した事例を比較検討し、今後の地方創生のあり方を検討していただきます。	〔前掲〕 森戸 裕一
	13:30～16:30		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方創生に取り組んだ2事例の比較・検討</li> <li>・地方創生とIT活用の接点</li> <li>・今回の取り組みで得た気づき</li> <li>・直面した課題とその対応策（演習）</li> <li>・質疑応答</li> </ul>	
	16:30～16:40	終講式		

※初日の講義終了後、受講者交流会（18:00～19:00）を予定しています。

※カリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

## 【講師紹介】 森戸 裕一（もりと ゆういち） ナレッジネットワーク株式会社 代表取締役

1990年よりシステムエンジニア、セールスエンジニア育成などの人材育成の分野で活躍後、2002年、独立してナレッジネットワーク株式会社を設立。日本マイクロソフト、日本ヒューレット・パカードなどの外資系企業を中心にビジネスプロデュース事業を展開。2004年より、IT経営応援隊事業を経済産業省が展開する中、全国47都道府県で1000回以上のセミナーを実施。2010年、一般社団法人日本中小企業情報化支援協議会を設立。IT経営応援隊事業で繋がった全国の公的機関・金融機関・専門家のネットワークを受け継ぎ、地域プロデュース、情報化支援、人材育成支援などの事業を全国で展開。2013年、一般財団法人ネットショップ能力認定機構の事務局長に就任。2017年政府CIOよりシェアリングエコノミー伝道師に任命される。

